

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600240
事業所名	グループホームサライ牧野が池公園

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナの5類移行後は、地域行事の再開も聞こえてくるようになり、ホームとしてもコロナの感染状況を見ながら、できることからの参加に努めている。ホームの家庭菜園で収穫するサツマイモの芋ほりに保育園児を招待したり、レクリエーションボランティアを受け入れたり、交流の機会を増やしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	コロナ禍は法人内メンバーのみでの会議開催であり、外部のメンバーには書面報告を行い、意見を募ってきた。コロナの5類感染症移行を受け、昨年6月からは外部のメンバーも交えた会議を復活させている。ホームの運営報告、活動報告を基に、意見交換を行い、聞き取った意見や提案をホーム運営に反映するように努めている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市の担当部署とはホーム運営に関する報告や相談を通じて適切に連携している。地域包括支援センターは、運営推進会議の参加もあり、地域情報の共有や地域高齢者の受け入れ相談等で連携している。区役所とは生活保護受給のある利用者の関係で連携がある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	コロナ禍以降、家族の意見や提案は、ホームのコロナ対応や対策に対するものが多く有り、法人の方針の説明やホームの対応等を理解してもらうための取り組みに終始していた。コロナの5類感染症移行後は、意向に沿った制限緩和にも踏み切ることができるようになり、利用者と家族の安心と満足に対応できるようになっている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

昨年6月開催から、外部のメンバーも交えて対面での会議を開催している。5月以前は法人内メンバーのみで開催し、議事録を配布する書面開催にしていた。
---

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	3. 運営推進会議を活かした取組み
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
	4. 市町村との連携
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	×	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							